

藤枝市立総合病院内科専門研修プログラム (藤枝市立総合病院)

1 はじめに

医学の進歩は早く、知識や技術は瞬く間に古いものとなります。たゆまぬ新たな知見の習得とより良い医療の追求は医師の使命であり、研修の基本です。当院の研修では、生命への畏敬、医学知識と洞察力のもとで病む者の苦しみを理解して、医療チームの一員として全人的医療に貢献し、自ら学ぶ姿勢を生涯持ち続ける豊かな人間性を持った医師を育成することに努めています。



各科間の垣根は非常に低く、各種院内勉強会や研修会も適宜開催していますので、最新の医学知識の習得と問題の解決法が探求できる環境にあります。学会発表や論文投稿も積極的に進めており、疾患の本態を見極める努力を怠らず、最新のエビデンスで最良の医療に務めるモチベーションを高める努力を続けています。

日々の臨床の場において様々な壁にぶつかり、指導医と共に悩み、努力で乗り越えていく経験は内科専門医として独り立ちしていく過程で必ず生きてきます。当院のスタッフは、努力の積み重ねを通じて疾患への探求心と問題解決能力を持ち、将来の医学を担う内科専門医の育成に全力で取り組みます。

この地域を中心に充実した連携施設を準備し、満足度の高いプログラムとしていますので、是非、当院の研修であなたが理想として描く内科専門医へと成長してください。

プログラム統括責任者 藤枝市立総合病院 副院長 丸山 保彦

2 目的

本プログラムは、志太榛原医療圏の中心的な急性期病院である当院を基幹施設として、県内唯一の医学部附属病院である浜松医科大学附属病院、県中部地域の静岡県立総合病院、静岡赤十字病院、そして当院と同じ二次医療圏にある榛原総合病院と連携して研修を行い、志太榛原医療圏 47 万人の医療事情を理解した内科専門医を養成することを目的としています。地域の病診・病病連携の中核であり、一方で地域に根ざす第一線の病院でもあり、コモンディジーズの経験はもちろん、超高齢社会を反映し複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所（在宅訪問診療施設などを含む）との病診連携も経験し、質の高い医療が実践できる専門医を育成します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

藤枝市立総合病院

(2) 専門研修連携施設

浜松医科大学医学部附属病院、静岡県立総合病院、静岡赤十字病院、榛原総合病院、東京大学医学部附属病院、中東遠総合医療センター

4 専攻医受入数

4名

5 研修期間

3年間

6 研修計画（例）

【コース概要】

専攻医が抱く専門医像や将来の希望に合わせて、以下のⅠ、Ⅱ、Ⅲのコースを準備しています。コース選択後も条件を満たせば他のコースへの移行も認められます。内科専門研修の各年次到達目標に配慮しながら Subspecialty 診療科に比重を置き研修することも可能です。

いずれのコースを選択しても遅延なく内科専門医受験資格を得られるように工夫されており、研修進捗状況によってローテーション期間の変更も可能です。

	1年目	2年目	3年目
Ⅰ	連携施設	基幹施設	基幹施設
	各科ローテート	各科ローテート	
		希望するSub-specialty	
Ⅱ	基幹施設	連携施設	基幹施設
	各科ローテート	各科ローテート	
		希望するSub-specialty	
Ⅲ	基幹施設		連携施設
	各科ローテート	各科ローテート	
		希望するSub-specialty	

7 問い合わせ先

藤枝市立総合病院 教育研修センター 望月 雄介
住所 〒426-8677 静岡県藤枝市駿河台4丁目1番11号
電話 054-646-1111 (代表) FAX 054-646-1122
E-mail : kensyu@hospital.fujieda.shizuoka.jp